

2015（平成27）年度入学試験問題（後期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程
小・中学校教科教育コース
社会科教育専修

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

資料 A と資料 B は、マイケル・サンデル著（鬼澤忍訳）『公共哲学 政治における道徳を
考える』（筑摩書房，2011 年）の一部（115～120 ページおよび 139～143 ページの抜粋，
表記一部改変）です。これを読み，以下の各問に答えなさい。

問 1 資料 A について，著者が問題視していることについて要約しなさい。（400 字程度）

問 2 資料 B について，「反トラスト法」違反で訴えられた大学の奨学金に対する考え方
と連邦裁判所がその主張を退けた理由について説明しなさい。（400 字程度）

なお，「反トラスト法」とは日本の独占禁止法（私的独占の禁止及び公正取引の確
保に関する法律）に相当するものである。

問 3 資料 B の「優秀生奨学金」制度が現行のいわゆる「高校授業料無償化制度」とは別
に日本の高校に適用された場合，高校教育にどのような状況が起こり得るのか考察
し，資料 A も参照しながら，論述しなさい。（800 字程度）

【資料 A】

非公開

非公開

非公開

【資料 B】

非公開

非公開

非公開

2015（平成27）年度入学試験問題（後期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程
小・中学校教科教育コース
社会科教育専修

出題の意図

この小論文は、琉球大学教育学部 学校教育教員養成課程が求める、将来教師として教育に携わるために必要な教育の理念と実践を広く深く学ぶ意欲と資質について評価するものである。すなわち、高等学校の社会科系科目で培った素養とその応用力・展開力を評価するために、社会科学的領域の資料に対して、その内容を正確に読解して分析し、そこから得られた認識をもとに設問の趣旨を踏まえて合理的に考察し、それを的確に論述する構想力と表現力について、問うものである。